

令和7年度 第7回理事会

日時：令和7年12月23日（火）：19：00～

場所：Zoom（オンライン）

参加者：理事：磯野、高村、小林、有泉、井村、大西、平賀、鮎川、渡邊、古屋、菊池、鈴木、上田、山下
部長：丸茂、藤原

欠席者：

慶事： 0件 弔事： 0件

施設数：188施設

会員数：929人 【施設会員882人/在宅会員47人】

休会員数：217人（12月20日現在23.4%）

【審議事項】

1. パソコンリースについて（事務管理局）
2. 産業保健研修開催について（事務管理局）
3. LINE公式アカウント進捗状況と、これからの手順（会報部）

【報告事項】

1. 2025年度理学療法部門責任者および若手を対象とした意見交換会の開催報告（士会支部局）
2. 令和7年度 ワークライフバランス部研修会について（ワークライフバランス部）
3. 「令和7年度介護講座」講師派遣（委託事業部）
4. 「令和7年度介護講座」講師派遣（スポーツ理学療法部）
5. 令和7年度山梨県地震防災訓練参加報告
令和7年度山梨県リハビリテーション専門職団体協議会 第3回災害対策支援委員会報告
（災害対策支援委員会）
6. 感染症対策委員会主催 講演会の開催について（感染症対策委員会）
7. 認知症対策委員会 研修会の報告（認知症対策委員会）
8. 医療・介護報酬に関する基礎的研修会の報告およびアンケート結果（介護保険部）
9. 山梨県在宅医療推進フォーラム 参加報告（地域包括ケア推進部）
10. NPO法人がんフォーラム山梨主催 山梨がんサミット2025 第3弾かいぶらり健康フォーラム がんを語ろう 参加報告、令和7年度山梨県理学療法士会がんリハビリテーション推進委員会 第3回会議報告（がんリハ推進委員会）

【事務管理局】

- ・次年度の事業計画、予算の作成のお願い

次年度の事業計画と予算の作成をお願い致します。下記のフォルダに**局ごとまとめて**提出をお願い致します。
担当副会長に確認していただき、1月20日を目途に提出をお願いします。1月の理事会で状況報告を察せていただき、3月末までに完成をしたいと思います。

LINEWORKS フォルダ：監事・理事・部長・委員長⇒定期総会⇒2026年度⇒事業計画フォルダ 予算フォルダ

- ・理事会の資料について

期日までの提出をお願いします。期日を過ぎての提出は、**議事に追加**をしていただき、トークヘアアップをお願い致します

案件番号 2025-12-23

御見積書

□注文書

2025年12月10日

一般社団法人 山梨県理学療法士会 御中

下記の通り御見積り申し上げます。

5年リース 月額： ¥16,100

※消費税が別途掛かります。

富士観光開発株式会社 事務用品部

山梨県南都留郡富士河口湖町船津3-5番地

電話 0555-73-2201

FAX 0555-72-1396

営業担当 金崎 之人

納入場所：貴社内

納入期日：御指定通り

お支払い条件：指定通り

御見積有効期限：御受取後2週間位

注文時特記事項及び印

三枝

金崎

項目	品名	型番	数量	単位	単価	金額	在庫状況	備考
1	HP 250R G9 Notebook PC	C52NZAT#ABJ	5	台	157000	785,000	在庫あり	既製品モデル
2	初期設定料金(ネット・ニアリーOfficeの起動環境まで致します)		5	式	5000	25,000		
3	データ移行料金(パソコン・タブレット等のデータのデータ移行を致します)		5	式	10000	50,000		

【 審 議 】

案件番号 2025-12-23

提出者	山下浩樹	部局名	事務管理局
議 題	産業保健研修開催について		
内 容 および 提出趣旨	今年度、山梨産業保健総合支援センターより依頼があり、県士会として 2 名の理学療法士を推薦し、産業保健相談員をして活動を開始している。今年度は、2 つの企業において、腰痛予防の講演と実技研修を実施する予定となっている。 そこで、産業保健部屋についての研修会の実施を検討したい。 講師：新潟県理学療法士 会長 中山裕子 先生 日時：2026 年 2 月 13 日（金）19:00～21:00（予定）参集形式 会場：甲州コミュニティホール（会場費 5000 円） 参加費用：士会員 1000 円 県外会員 2000 円 非会員 5000 円 *新潟県士会は、産業保健分野において、支援センターとしての活動と士会独自の活動を実施。中山先生においては、協会の産業保健分野講師も務められ、産業保健分野でご活躍されております。		
	提出資料	無	別紙 枚 資料番号等
提出者の意見	・ パソコンの台数においては、		
	提出資料	無	別紙 枚 資料番号等
主な意見内容 など	・ 産業分野においては、今後、理学療法士の活動の場としても期待が大きい。 ・ 山梨県においても産業保健総合支援センターからの産業保健相談員の推薦の依頼もあり、今後の活動の広がりも期待でき、産業保健分野で活躍ができる理学療法士の育成も課題と考える ・ 予算については（講師料、交通費、宿泊費 約 80,000 円）計上しておりませんが、必要性を考慮し、ご検討をお願いしたい。		
	審議（ 終了 ・ 継続 ・ 保留 ・ 付託 ） 賛否（ 賛成 反対 ）		
審議結果	対応部局または理事氏名		
	処理期間 平成 年 月 日 頃		
	次回再検討予定 第 回 理事会 ・ 三役会 ・ 部局会議		
公開度	A（ 部長 ・ 委員長 ・ 代議員 ）		B（ 会 員 ） C（ 一 般 ）

【 審 議 】

提出者	宇月 正明	部局名	事務管理局 会報部
議 題	LINE 公式アカウント進捗状況と、これからの手順		
内 容 および 提出趣旨	進捗状況 「山梨県理学療法士会」の名称でビジネス ID「@483slbqq」を取得。 また「承認済みアカウント」を取得。 現在、「LINE works」のトークルーム「理事・幹事・部長・委員長」にご協力してもらい、「コミュニケーションプラン」（無料）で試験運用中。「トークルーム」メンバー44 名中、24 名にご登録いただいている。		
	提出資料	有	別紙 1 枚 資料番号等

提出者の意見	今後の流れ（支出が少なくなる順番で） ・メーリングリストでの URL の配信を行いメーリングリスト登録者から登録を促す。また、会報誌発送に合わせて公文書形式にて会員に登録のお願いをする。 （今のところ士会員への情報提供のため、士会ホームページ等の掲載は行わない） ・上記のタイミングで登録数をモニタリングしながら、料金プランをアップグレード（有料 ライトプラン 5000 通/5000 円から始める） ・支払いの件は、予算を総務部に渡して支払いは、総務部のクレジットカードにて行う。		
	提出資料	有	別紙 1 枚 資料番号等
主な意見内容など	次年度の「公式ラインアカウント」の予算案は「会報部」で計上した方が良いか？		
審議結果	審議（終了・継続・保留・付託）		賛否（賛成 反対）
	対応部局または理事氏名		
	処理期間	平成 年 月 日 頃	
	次回再検討予定	第 回 理事会 ・ 三役会 ・ 部局会議	
公開度	A（部長・委員長・代議員）		B（会 員） C（一 般）

山梨県理学療法士会 第〇号
令和7年〇月〇日

会員各位

一般社団法人 山梨県理学療法士会
会 長 磯野 賢
事務局 会報部 宇月 正明
(公印略)

山梨県理学療法士会 公式LINE アカウント開設のご案内

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
平素より本会の活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび、山梨県理学療法士会では公式LINE アカウントを開設いたしました。
今後、研修会情報や士会からのお知らせ等を、迅速かつ的確にお届けできるよう本アカウントを活用してまいります。

つきましては、下記 QR コードまたは ID より「友だち追加」を行っていただき、今後の情報配信にご活用くださいますようお願い申し上げます。

敬具

記

友だち追加はこちらから
①LINE LINE ID : @438slbqq



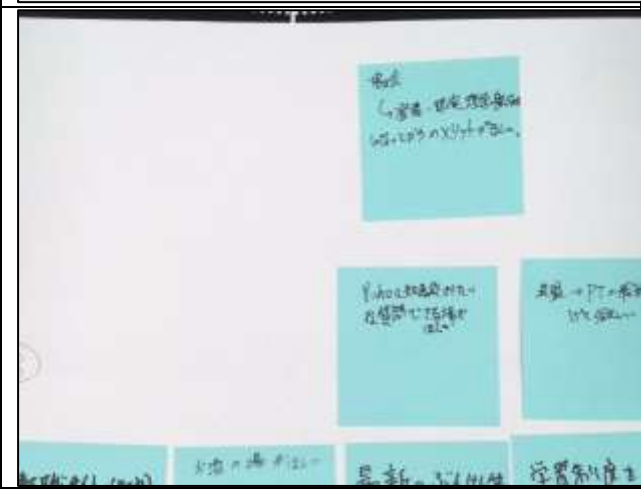
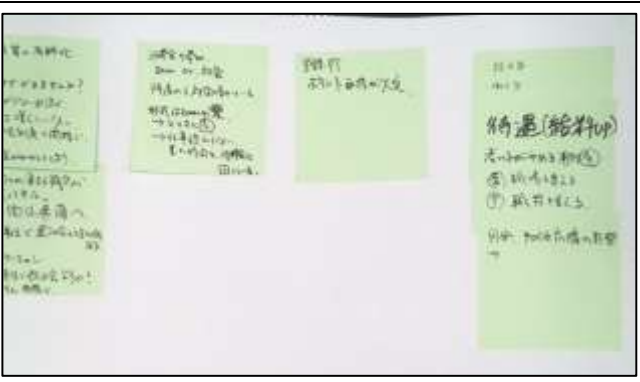
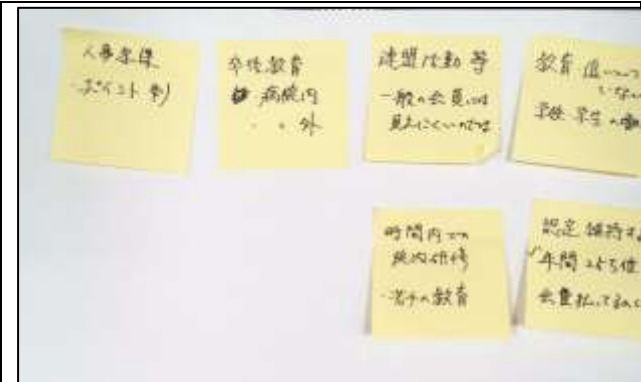
今後とも円滑な情報共有と会員サービスの向上のため、本アカウントのご登録をよろしくお願い申し上げます。

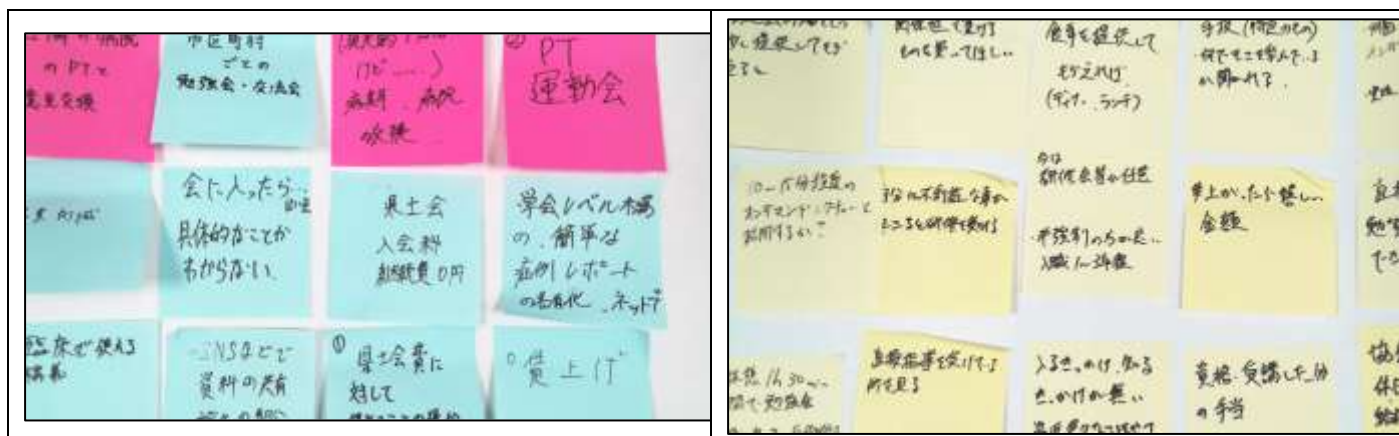
【お問い合わせ先】

春日居総合リハビリテーション病院
理学療法士 宇月 正明
E-mail : kaihoushiyamanashipt@yahoo.co.jp

【 報 告 】 案件番号 2025-支-5

提出者	平賀篤	部局名	士会支部局
議 題	2025 年度理学療法部門責任者および若手を対象とした意見交換会の開催報告		
内 容 および 提出趣旨	<概要> 日時：2025. 12. 4（木） 19 時～20 時半 場所：健康科学大学 桂川キャンパス 参加者数：11 施設 23 名（管理者 7 名、若手 16 名） 提出資料 有 別紙 枚 資料番号等		
提出者の意見	前年度の課題であった発言のしにくさを解消すべく、1 グループ 5 名+ファシリテーターをベースとした少人数グループでの意見交換を行った。参加された方々は積極的に意見交換をしている印象であったが、富士東部からの参加者自体が少ないことが今後の課題となった。今回得られた協会・士会への要望を中心に各支部から積極的に参加してもらえる企画を検討していく。 提出資料 有 別紙 枚 資料番号等		
主な意見内容 など			
結果			
公開度	A（ 部長 ・ 委員長 ・ 代議員 ） B（ 会 員 ） C（ 一 般 ）		





【 報 告 】

提出者	松野 奈美（恵信甲府病院）	部局名	ワークライフバランス部
議 題	令和7年度 ワークライフバランス部研修会について		
内 容 および 提出趣旨	2026年3月4日にワークライフバランス部の研修会を開催予定である為、以下に報告いたします。 講師：甲府共立病院 産婦人科 指導医 松上 まどか 先生 テーマ・タイトル：「どんなライフステージでも自分らしく！」 日時：2026年3月4日（水）18:30～20:00 開催予定 方法：オンライン形式 対象：県士会会員、関東甲信越ブロック内の会員 受講費：県内会員 1000 円、県外会員 2000 円 提出資料 無 別紙 枚 資料番号等		
提出者の意見	産婦人科医である松上先生より日々の診療のご経験をご講義いただき、世代や男女を問わず、出産だけでなくライフステージごとの悩みや仕事継続への思いを相互に理解し合うことを目的としています。 県外の会員には、『関東甲信越ブロック働きやすい職場創り検討委員会』を通じて広報を行いたいと思います。 提出資料 無 別紙 枚 資料番号等		
主な意見内容 など			
結果			
公開度	A（部長・委員長・代議員） B（会 員） C（一 般）		

【 報 告 】 案件番号 2025-12-1

提出者	市川 普隆	部局名	委託事業部
議 題	「令和7年度介護講座」講師派遣		
内 容 および 提出趣旨	介護福祉総合支援センターより、講師派遣依頼を受け、 派遣士会員：白根徳洲会病院 齊藤敏行 先生 を派遣させて頂いた。 日時：令和7年度12月3日(火) 9:30～12:30 テーマ：本人の力を引き出す介助の方法 ～寝返り、起き上がり、移乗等～ 参加：13名(介護職6名、一般7名) 提出資料 無 別紙 枚 資料番号等		
提出者の意見	実技中心に講義を進めて頂き、多くの質問も頂けた。 提出資料 無 別紙 枚 資料番号等		
主な意見内容 など	質問は、介護職の方から「意欲低下の人や協力の得られない人はどう介助したらいいか?」「認知症の方の介助方法」など具体的な内容であった。次年度以降も担当される先生に申し送りし対応していきたい。		
結果			
公開度	A (部長 ・ 委員長 ・ 代議員) B (会 員) C (一 般)		

【 報 告 】 案件番号 2025-12-1

提出者	森田 伸哉	部局名	スポーツ理学療法部
議 題	「令和7年度介護講座」講師派遣		
内 容 および 提出趣旨	公益財団法人日本レスリング協会より、大会への部員派遣の依頼を受けた。 大会名：2026 JOC 杯 U20・U17 全国大会予選（関東ブロック）及び、 2026 アジア選手権 U15 代表選出大会予選（関東ブロック） 日 時：令和7年度12月25日(木)、26日(金) 会 場：小瀬スポーツ公園 体育館 提出資料 無 別紙 枚 資料番号等		
提出者の意見	部員：12月25日 4名 12月26日 5名 で協力予定 提出資料 無 別紙 枚 資料番号等		
主な意見内容 など			
結果			
公開度	A (部長 ・ 委員長 ・ 代議員) B (会 員) C (一 般)		

【 報 告 】 案件番号 2025-12-

提出者	大野 了資	部局名	災害対策支援委員会
議 題	① 令和 7 年度山梨県地震防災訓練参加報告		
内 容 および 提出趣旨	令和 7 年度山梨県地震防災訓練参加 日時：令和 7 年 11 月 23 日（日）8:30～12:00 会場：甲州市（甲州市勝沼勤労者体育館） 参加：PT 士会 井村先生（恵信）、中山先生（辺見診療所）、伊藤先生（県中）、大野 OT 士会 磯野先生（JRAT 事務局）、 提出資料 無 別紙 枚 資料番号等		
提出者の意見	令和 7 年 11 月 23（日）、甲州市で行われた山梨県地震防災訓練に山梨 JRAT として参加してきました。訓練では、要配慮者を避難所から福祉避難所への搬送する際の車いす操作（坂道や段差など）や車両への移乗方法、避難所・福祉避難所でのダンボールベッドの取り扱いや必要性を説明して実際に体験していただいた。訓練後は、J R A T のパンフレット及び山梨 J R A T のチラシを配布し、J R A T の活動について説明。看護協会（災害支援ナース）、栄養士会（JDA - DAT）との連携もできた。 参加者は自治体住民や職員の方で、地震防災訓練の前に避難所体験として宿泊訓練も実施されており、防災に関して関心が高い印象を受けました。 今後も継続して地震防災訓練に参加していきます。  提出資料 無 別紙 枚 資料番号等		
主な意見内容 など			
結果			
公開度	A（部長・委員長・代議員） B（会 員） C（一 般）		

【 報 告 】 案件番号 2025-12-18

提出者	大野 了資	部局名	災害対策支援委員会
議 題	令和7年度山梨県リハビリテーション専門職団体協議会 第3回災害対策支援委員会報告		
内 容 および 提出趣旨	日時：令和7年12月8日（月）19：00～19：35 WEB 開催 参加：PT 士会：井村、大野、伊藤 OT 士会：磯野、吉田、土橋 ST 士会：赤池（洋）、中嶋、赤池（絢）、中込、矢萩、渡邊 議題： ① 令和7年度災害対策支援委員会研修会について ② 令和7年度山梨県地震防災訓練について ③ 令和7年度山梨県災害リハビリテーション支援関連団体協議会研修会について ④ 令和7年度事業報告・決算報告 ⑤ 令和8年度事業計画案・予算案報告 提出資料 無 別紙 枚 資料番号等		
提出者の意見	令和7年度事業報告・決算報告、令和8年度事業計画案・予算案報告、今年度行われた事業の振り返りを行った。 研修会では、対面研修であったため参加者が集まりにくい状況ではあったが災害分野では対面でやり取りをし、コミュニケーション能力を養うことも重要でもあるため対面での研修会は来年度も実施するが、参加者をどう増やすか課題があがり検討していく。 次年度の事業として、J R A T の摂食嚥下支援研修の伝達講習を3士会向けに実施する案があがった。山梨J R A T では関東ブロック持ち回りで「P F A」（心理的応急処置）を実施予定であるとのこと。 本会議をもって専門職団体協議会災害対策支援委員会の本年度の活動は終了。 提出資料 無 別紙 枚 資料番号等		
主な意見内容 など			
結果			
公開度	A（部長・委員長・代議員） B（会 員） C（一 般）		

【 報 告 】 案件番号 2025-1-2

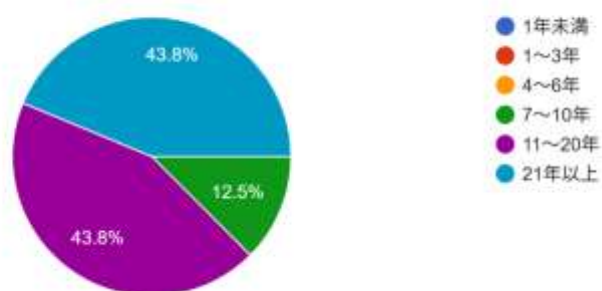
提出者	雨宮直樹	部局名	感染症対策委員会
議 題			
内 容 および 提出趣旨	感染症対策に関する下記の講演会を開催しました。 講演会は山梨大学医学部附属病院 感染制御部部長 井上修先生を講師にお招きし、明日から役立つ感染対策として各感染症に対するトピックスから標準予防策、ワクチンなど多岐に富んだ講演内容となりました。また、手洗いチェッカーを使用した実技なども行われ参加者に対してわかりやすくご講演をいただきました。 日 時：令和7年12月5日（金） 19時00分～20時30分 場 所：甲州コミュニティホール テーマ：「明日から役立つ感染対策」 講 師：山梨大学医学部附属病院 感染制御部部長 井上修先生		

	座 長 ; 山梨大学医学部附属病院 リハビリテーション部 技士長 八木野義孝 参加者 : 22 名 アンケート人数 16 名 提出資料 無
提出者の意見	参加者の 8 割以上が 11 年目以上の臨床経験者であり、実際に現場の管理や運営を担っている方の感染症対策への関心や意識の高さを感じました。 感染チェックなども実技を交えた講演内容でもあったため、講演終了後のアンケートでも理解が深まった、明日からの臨床に役立つについて高い評価をいただき、有益な情報提供ができたのではないかと思います（アンケート結果は別紙資料をご参照ください）。 引き続き、県士会員への感染症対策の情報発信や感染症対策に関する講演会等を企画していきたいと思います。 提出資料 有 別紙 1 枚 感染対策講演会アンケート結果
主な意見内容など	講演会内容及び参加満足度は評価が高かったものの、別紙収支報告の通り、収益面について講演会企画段階での反省・課題が残りました。 実技を伴う講演でもあったため現地開催としましたが、年度当初は Web 開催を予定していたため、計上していなかった会場賃借費が発生したこと、講師が教授クラスであったため諸謝金が高額となったこと、さらに参加者見込み人数（50 名）を大きく下回る結果となったことから、予定より約 33,000 円の支出超過が生じ、補正予算を計上していただくこととなりました。 次年度は講演会の企画段階から広報活動についても力を入れつつ、収支バランスを十分に検討し、改善を図ってまいります。
結果	実技を伴う講演で参加者から高い評価をいただきましたが、支出に対して、収益が大きく下回る結果となったことで、補正予算を計上させていただくこととなりました。次年度は講演会の企画の見直しを含めて改善していきたいと考えております。
公開度	A（ 部長 ・ 委員長 ・ 代議員 ） B（ 会 員 ） C（ 一 般 ）

R7 年度 感染対策講演会 アンケート結果について

Q1【属性情報】 ご自身の理学療法士としての実務経験年数をお選びください。

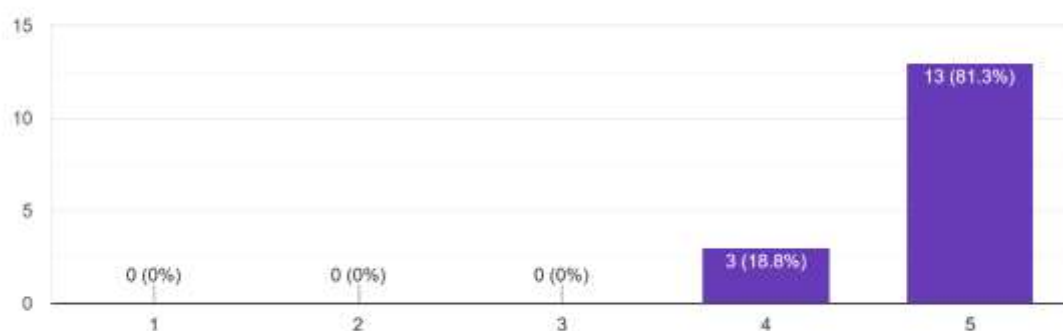
16 件の回答



経験年数は 11 年目以上が 9 割近くを占めており、6 年目以下の参加者はいなかった

Q2【満足度】 講演会全体について、あなたの満足度をお聞かせください。

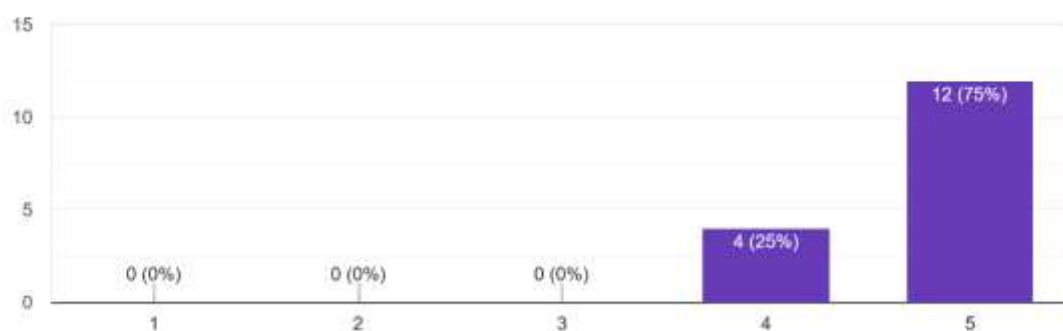
16 件の回答



Q3【理解度】

講演を通じて、リハビリテーション現場における感染症対策の知識や理解が深まりましたか。

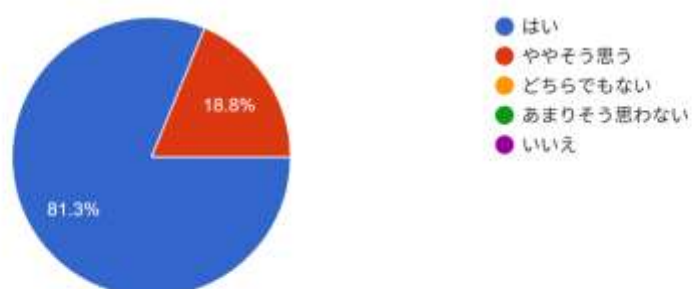
16 件の回答



満足度及び理解度については非常に高い結果となった

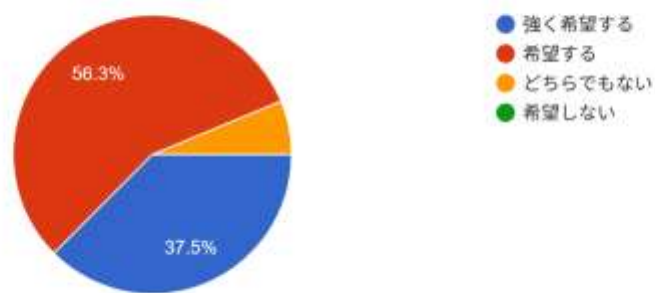
Q4【実践性】 講演内容は、明日からの臨床実践において役立つと感じましたか。

16 件の回答



講演内容は実践的な内容であった

Q5【継続希望】 今後も感染対策に関する講演会の継続を希望しますか。
16 件の回答



9 割以上の参加者が講演会の継続を希望された

【 報 告 】 案件番号 2025-12-16

提出者	清水 真治	部局名	認知症対策委員会
議 題	認知症対策委員会 研修会の報告		
内 容 および 提出趣旨	認知症対策委員会研修会を 2025 年 12 月 2 日（火）19 時～20 時 30 分オンラインにて開催しました。講師に国立研究開発法人 国立長寿医療センター 予防老年学研究部 副部長 土井 剛彦 先生を招聘し「認知症予防最前線」というテーマでご講演頂いた。 提出資料 有 別紙 1 枚 資料番号等		
提出者の意見	事前参加登録は、43 名おり協会システムでの参加者登録 40 名（山梨県理学療法士 10 名、他県理学療法士 30 名） 銀行振込 3 名（山梨県理学療法士）でした。受講費用は、県内会員 1,000 円 県外会員 2,000 円ですので、合計 73,000 円（協会代行手数料は引いていません）の収入がありました。また当日参加者は、35 名であった。アンケートは、21 名から回答いただき、「わかりやすかった」など、好意的なご意見がほとんどでした。（別紙参照） 提出資料 有 別紙 1 枚 資料番号等		
主な意見内容 など	・協会ポイント登録の QR コードが読み取れない方が、4 名いたため参加者フォーマットからポイント申請を研修管理部と行いました。 ・県内理学療法士の参加が少なく周知が必要である。 ・人数の確保や予算的な観点から今後もオンラインで開催を考えています。		
結果	43 名の事前参加登録、35 名の参加者がありました。アンケートは 21 名から回答がありました。		
公開度	A（ 部長 ・ 委員長 ・ 代議員 ） B（ 会 員 ） C（ 一 般 ）		

2025 年 認知症対策委員会研修会 アンケート報告書

開催日：2025 年 12 月 2 日（火）

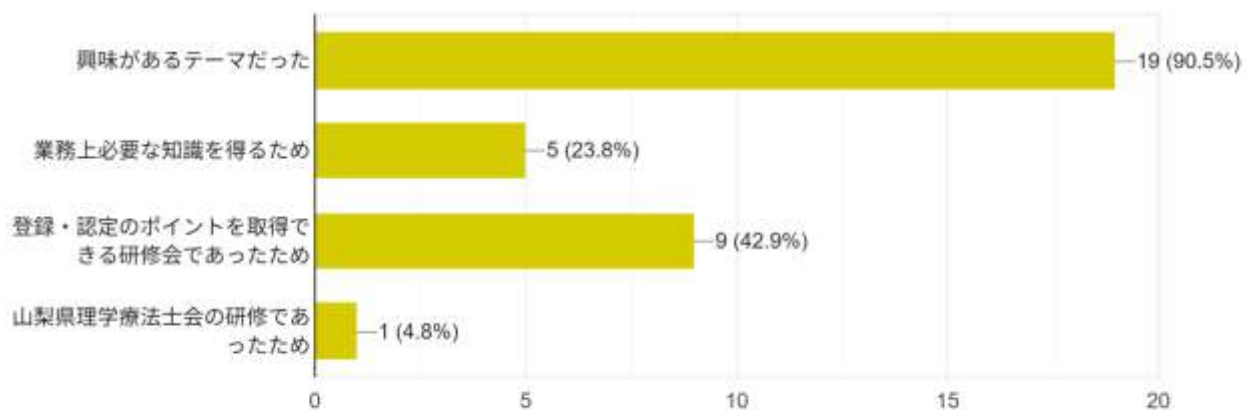
報告者：清水 真治

はじめに

2025 年 12 月 2 日（火）19：00～20：30 認知症対策委員会 研修会として、国立研究開発法人 国立長寿医療センター 予防老年学研究部 副部長 土井 剛彦 先生に「認知症予防最前線」をテーマにご講演頂きました。研修方法は、Zoom ウェビナーの研修会とした。事前参加申し込み 43 名（山梨県理学療法士 13 名 他県理学療法士 30 名） 当日参加者 37 名（講師・座長を含む）であった。アンケートは、21 名の方から頂き以下に報告します。

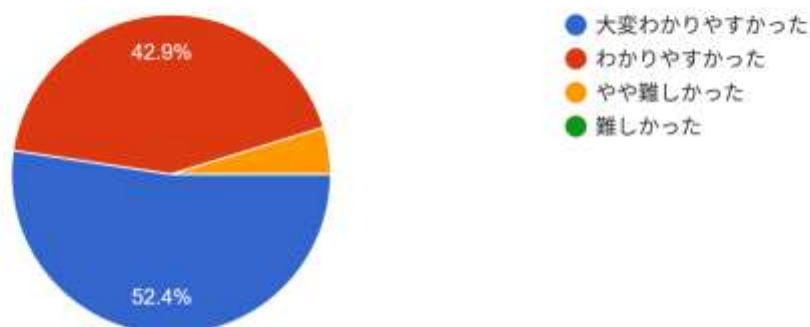
1. 研修会参加の目的（複数回答可）

21 件の回答



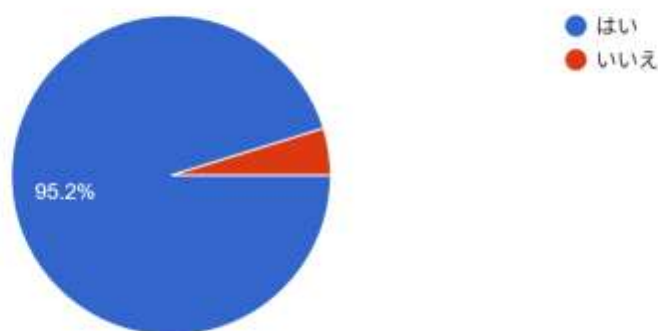
2. 研修会の内容について

21 件の回答



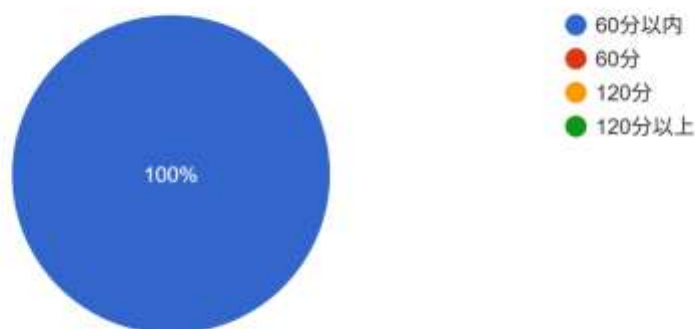
3. 講義時間は適切でしたか（90分）

21 件の回答



3-1問3でいいえと答えた方のみ回答をお願いします。講義時間をお答えください。

2 件の回答



4. 研修会で学べたこと、感想やご意見をお書きください。

- ・とても勉強になりました。ありがとうございました！
- ・認知症予防に運動はもちろん、複数の要因にもアプローチすることが有効であることを学びました。
患者様をいろいろな観点から見ていきたいと思います。
- ・身体活動以外の重要性も改めて学びました
- ・MCI の方へのアプローチが大切だと改めて思いました
- ・知見
- ・興味深い内容でした。文献読みたかったので資料があればなお良かったです。
- ・高齢者施設で勤務しているため、他職種連携は図れるものの、1 人の利用者を PT だけで担当するため、認知症の評価や予防の知識も必要となります。やはり、運動や食事、生活習慣などさまざまな観点から介入する事が良い事なのだと再確認できました。
- ・認知症の現状についてりかれました。
- ・具体的なデータや治験を示してもらい、とても分かりやすい内容でした。何となく感じていたことの根拠となりそうな資料だったので、資料が欲しいです。ありがとうございました。
- ・最新の研究成果がわかった
- ・とてもわかりやすくまとまった内容だったので理解が深まりました
- ・応用できそう

5. 今後取り上げてほしいテーマなど自由なご意見をください。

- ・フレイル関係
- ・今回話にあった「継続してもらおう」ためにどんな工夫が必要か？学びたいです
- ・コグニサイズについて
- ・福祉用具
- ・認知症の方への介入方法、具体的なコグニサイズの紹介など。
- ・成果を上げている認知症の取り組み
- ・理学療法評価、特に徒手での整形外科的評価

まとめ

平日夕方方の研修会の開催でしたが、多くの方が参加された。アンケート結果からも「わかりやすかった」など、好意的なご意見がほとんどでした。

今後も認知症についての研修会を継続的に開催し、理学療法士の専門性をさらに広げていけるよう努めてまいります。

提出者	遠藤 勇志	部局名	介護保険部
議 題	医療・介護報酬に関する基礎的研修会		
内 容 および 提出趣旨	医療保険部と介護保険部の合同研修会を、下記期日にて開催致しましたので、ご報告致します。今回はオンライン研修となっております。 日 時 : 令和 7 年 12 月 17 日 (水) 19 時 00 分～20 時 30 分 (受付開始 18 : 45～) 会 場 : オンライン研修 (ZOOM を使用して士会事務所に配信) テーマ : 「基礎から学ぼう！医療・介護保険制度」(推奨経験年数 1～3 年目対象) 講 師 : 医療保険 剣持 雅尚 (恵信リハビリテーション病院) 介護保険 遠藤 勇志 (山梨ライフケア・ホーム) 目 的 : 社会保険制度に関する基礎的な研修内容とし、診療報酬・介護報酬の各種制度の理解を深め、専門職としての自覚を高める事です。 参加人数 : 事前参加登録済み 10 名中 9 名が実際に参加されました。(欠席者 : 1 名) 参加費 : 1,000 円 (クレジット決済もしくは現金振り込み) 収 支 : 1,000 円×10 名 合計 10,000 円 全てクレジット決済でした。 提出資料 有 別紙 1 枚 資料番号等 (添付資料 1)		
提出者の意見	研修目的にある通り本研修は、医療・介護保険の基礎的な知識の習得であり、推奨の経験年数は 1～3 年目の士会員となっております。昨年度同様、「認定・専門理学療法士更新点数 1.5 点」、もしくは「登録理学療法士更新ポイントカリキュラムコード区分 1-8 の【医療保険サービスと理学療法】1.5 ポイント」のポイント付与対象の研修会として実施し、研修会終了時にアンケートを行いました。アンケート結果より、自施設の業務終了後に参加されるだけの事はあり、医療・介護の報酬について多少の知識を有している先生方が多く、報酬制度についても全員が興味を持っておりました。また、次回も参加したいかとの質問に対して「参加したい」、「内容によっては参加したい」との回答があり、研修参加者の意欲が高い事が分かりました。今日の研修についてはどうかとの質問に対して「勉強になった」「多少参考になった」との回答が多く、「参考にならなかった」という先生は 1 人もいませんでした。運営側としてもご満足頂く事ができた事を、大変嬉しく思いました。 提出資料 有 別紙 1 枚 資料番号等 (添付資料 2)		
主な意見内容 など	制度関連の研修会である事とオンライン研修である事の両方の性質上、具体的な質疑応答に対しては、原則、参加申し込み時の事前質問にて受け付けを行い、ご質問頂いた内容を優先的に回答する方法を取りました。アンケートについては、研修終了後に ZOOM から退室すると、自動的にブラウザが起動してアンケートへ回答ができるようにしました。最後の項目で「要望」等を自由記載できるようにしましたが、特に要望はありませんでした。		
結果			
公開度	A (部長・委員長・代議員) B (会 員) C (一 般)		

令和 7 年度

医療・介護報酬に関する基礎的研修会の

アンケート結果について

【集計結果について】

事前参加登録済み 10 名の内、9 名が実際に研修に参加されました。アンケートの回答者は 7 名でした。
尚、今回はオンライン研修（ZOOM ウェビナー使用）にて開催をしております。研修終了後に ZOOM から退室すると、自動的にブラウザが起動してアンケートへ回答ができるようにしました。

問 1. 経験年数を教えてください。

- ④ 1 年目 (2 名 : 29%) ② 2～3 年目 (0 名 : 0%) ③ 4～5 年目 (2 名 : 29%)
④ 6～10 年目 (1 名 : 14%) ⑤ 11～20 年目 (1 名 : 14%) ⑥ 21 年目以上 (1 名 : 14%)

問 2. PT として、自分が行なった業務に対して算定できる診療報酬を理解していますか？

- ① 理解している (3 名 : 43%) ② 大まかなことはわかる (3 名 : 43%) ③ わからない (1 名 : 14%)

問 3. PT として、自分が行なった業務に対して算定できる介護報酬を理解していますか？

- ① 理解している (2 名 : 28.5%) ② 大まかなことはわかる (3 名 : 43%) ③ わからない (2 名 : 28.5%)

問 4. 診療・介護報酬に関して興味を持っていますか？

- ① 大いに持っている (7 名 : 100%) ② 多少持っている (0 名 : 0%) ③ 興味ない (0 名 : 0%)

問 5. 今日の研修会はいかがでしたか？

- ① 勉強になった (7 名 : 100%) ② 多少参考になった (0 名 : 0%) ③ 参考にならなかった (0 名 : 0%)

問 6. 今後このような研修会が企画されれば参加したいと思いますか？

- ① したい (4 名 : 57%) ② 内容によって参加 (3 名 : 43%) ③ したくない (0 名 : 0%)

問 7. 医療・介護保険部の活動に対して要望等ありましたらお書きください。

要望等はありませんでした。

提出者	山田 洋二	部局名	がんリハ推進委員会
議 題	【活動報告】 NPO 法人がんフォーラム山梨主催 山梨がんサミット 2025 第3弾 いぶらり健康フォーラム がんを語ろう 参加報告 提出資料 無 別紙 枚 資料番号等		
内 容 および 提出趣旨	提出資料 無 別紙 枚 資料番号等		
主な意見 内容など	・ イベント開催日時：12月21日 12:00-15:30 ・ 活動時間 10時30分 委員集合、荷物搬入 11時 県士会ボランティア集合、会場設営 12時～14時 ワークショップにて来場者対応 ・ 対応者6名：がんリハ推進委員3名（山田、中島、上田【担当理事】） 県士会ボランティア3名（白鳥 PT、坂本 PT、新永 PT） ・ ワークショップの活動内容：会場内へブース展開し、フレイル・サルコペニア評価の実施。 握力、体組成計（in body）を使用し、筋力、筋量測定、運動指導、リンパ浮腫相談を実施 ＊ 器機は帝京科学大学より借用 ・ サルコペニア基準 AWGS2025 に則り測定した所、数名の方が該当しており、指導へ繋がられました。来場者の反応としては、「がん術後のリンパ浮腫で治ることはないのか」「どのような運動を自宅で実施したら良いか」、「今の自分の体の状態を知りたい」、「このままだとフレイルになってしまうのか」、などの不安や疑問など様々でした。がんサバイバーの多くの方が相談できる場が無い、がんフォーラムの企画へ参加されている現状があることを実感しました。主催者からは来年度の依頼や山梨県理学療法士会への期待のお言葉もいただきました。   写真①. ワークショップの様子 写真②. 当日対応した委員とボランティア		
結果			
公開度	A（ 部長 ・ 委員長 ・ 代議 員 ） B（ 会 員 ） C（ 一 般 ）		

提出者	山田 洋二	部局名	がんリハ推進委員会
議 題	【活動報告】 1. 令和7年度山梨県理学療法士会がんリハビリテーション推進委員会 第3回会議報告 提出資料 無 別紙 枚 資料番号等		
内 容 および 提出趣旨	提出資料 無 別紙 枚 資料番号等		
主な意見 内容など	1. がんリハビリテーション推進委員会第3回会議報告 開催日時：2025年12月2日19:30-20:30（オンライン） 参加者：山田、宮下、中島、（途中まで研修会講師の上田亨先生もご出席） 1）第2回山梨県理学療法士会がんリハビリテーション研修会 ・テーマ：リンパ浮腫の理学療法 ・講師：上田亨先生（リムズ徳島） ・開催日：2月24日 ・講義の内容 講師の上田先生同席の下、研究会の企画について内容とタイムスケジュールを確認した。 講義の概要は、臨床的な内容を主体とし、基本的なリンパ浮腫の説明、アプローチの紹介、 技術習得の方法についてご教示いただくことを確認した。 研修会の申込期限：2月17日。チラシを作成し、参加者確保に向けて広報活動を行う。 2）12月21日 がんフォーラム山梨準備 フレイル・サルコペニア評価を実施する。 測定項目は、握力、周径（浮腫を検出する）、体組成（in body） 弾性包帯のサンプル展示をナック商会へ依頼。物品のみ借用も含めて依頼時に相談。 フレイルのパンフレットについて、筑波大学山田実先生より許可をいただいたので当日配布する。併せて、県士会員のボランティア募集を進める。。 「がん」のハンドブックを広報部へ依頼して取り寄せる。士会の旗とビブスなど広報グッズも用意する。スタッフ用名札を準備する。 3）次回会議予定 2月10日(火)19:30		
結果			
公開度	A（部長・委員長・代議員） B（会 員） C（一 般）		